



スマホからも閲覧できます

LIBRARY PRESS



● 図書室インフォメーション

3年生へお願いします！図書室の前に寄贈本を受け入れる箱が置いてあります。進路が決まってもう使用しなくなった参考書や読まなくなってしまった小説などがありましたら、卒業前にぜひ寄贈をお願いします。新しい本や役立つ本を後輩へ。ご協力をお願いします。内容によっては談話室へ配架させていただきます。ご協力をお願いします。

★ 栞(しおり)の豆知識



栞(しおり)は読書に欠かせないアイテムです。本をどのページまで読み進めたのかを示す道しるべのようなものですが、「栞」という漢字にはそもそも、細く削った木で作った道しるべという意味があるそうです。

栞は現在、紙を短冊状に切ったもの、金属で作ったもの、あるいは本の背表紙にひもの形でくっついている「スピン」など、様々な種類があります。大昔は縦9センチ・横15センチに削って、さらに裂き割った竹を、巻物などに挟んで栞として使っていたそうです。また、僧侶などが木や竹、象牙で作った板に本のタイトルを書き込み、その上の部分に穴をあけて紐を通して「箋(せん)」というものにして使っていたという話もあります。(参考文献:『字通』日本大百科事典)

話題の人

2017年のノーベル文学賞受賞者



日本生まれの英国人作家
カズオ・イシグロ氏

プロフィール

カズオ・イシグロ氏は、1954年、日本人の両親の間に生まれました。海洋学者だった父親の仕事の関係により5歳でイギリスに渡り、英語で教育を受け、イギリスの大学に進みました。

大学時代は、昨年のノーベル文学賞受賞者であるアメリカのシンガーソングライター、ボブ・ディランさんにあこがれて、ミュージシャンを夢見ていました。その後、英語で小説を書き始め、作品は40以上の言語に訳されています。日本語はほとんど話せないそうです。

*茨城新聞10/16 引用

カズオ・イシグロ氏の作品一覧

- 『遠い山なみの光 (原題: A Pale View of Hills)』1982年
- 『浮世の画家 (原題: An Artist of the Floating World)』1986年
- 『日の名残り (原題: The Remains of the Day)』1989年
- 『充たされざる者 (原題: The Unconsoled)』1995年
- 『わたしたちが孤児だったころ (原題: When We Were Orphans)』2000年
- 『わたしを離さないで (原題: Never Let Me Go)』2005年
- 『夜想曲集: 音楽と夕暮れをめぐる五つの物語』(原題: Nocturnes: Five Stories of Music and Nightfall) 2009年
- 『忘れられた巨人 (原題: The Buried Giant)』2015年

✿ 図書委員会より



世界のことわざ

もらった馬の歯は見てはならない

(リトアニア)

人から物をもらうときは、それが良いものかどうか、吟味してはならない。馬を買うとき、玄人は馬の歯を見て歳を知り、価値を確かめた。

乳をよく飲む子はよく跳ねる

(スイス)

栄養のゆきわたった子は健康である。一般的には大人にも当てはまり、「よく食べる者は元気でいい奴だ」ということわざもある。

* 柴田武・谷川俊太郎・矢川澄子編
『世界ことわざ大事典』より
厚さが7cmもある巨大な一冊です！
(2F 赤田陽斗 岡野秀紀)

□ 『風の詩集』から □

「詩」より

堀辰雄

僕は歩いてみた
風のなかを

風は僕の皮膚にしみこむ

この皮膚の下には
骨のヴァイオリンがあるといふのに
風が不意にそれを
鳴らしはせぬか

* 10月30日、東京に木枯らし1号が吹いたという発表がありました。いよいよ冬が間近に迫っています。こんな季節にふさわしい詩を選んでみました。三木卓・川口晴美編『風の詩集』には、春から冬まで様々な「風」の詩が収められています。